



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東  
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	117,335	△1.6	5,663	△2.1	5,895	△2.1	3,146	19.1
29年3月期第2四半期	119,212	1.6	5,784	3.8	6,019	2.4	2,640	△17.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第2四半期	105.63		—					
29年3月期第2四半期	88.66		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	222,936	136,829	61.4	4,594.02
29年3月期	224,327	134,202	59.8	4,505.85

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 136,829百万円 29年3月期 134,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
30年3月期	—	19.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	231,200	0.1	9,700	11.1	9,900	8.0	5,600	28.5	188.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	29,784,400株	29年3月期	29,784,400株
30年3月期2Q	294株	29年3月期	294株
30年3月期2Q	29,784,106株	29年3月期2Q	29,784,106株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) 商品部門別販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら米国の政策運営や近隣国との政治的緊張関係等の影響による世界経済の不確実性の懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、4店舗の新規出店及び2店舗の増床をいたしました。同時に既存店の見直しもを行い7店舗を閉鎖いたしました。これにより当第2四半期会計期間末の店舗数は、33府県にわたり368店舗（内1店舗は休業中）となりました。

売上高1,173億35百万円（前年同期比1.6%減）、売上総利益387億10百万円（前年同期比1.5%減）、売上総利益率33.0%（前年同期比0.0ポイント増）となりました。

また、販売費及び一般管理費330億47百万円（前年同期比1.4%減）、対売上高比率は28.2%（前年同期比0.1ポイント増）となりました。

この結果、営業利益56億63百万円（前年同期比2.1%減）、経常利益58億95百万円（前年同期比2.1%減）、四半期純利益31億46百万円（前年同期比19.1%増）となりました。営業利益、経常利益の段階では減収減益となりましたが、四半期純利益は、前年同期に「平成28年熊本地震」による震災関連費用10億2百万円、また平成28年9月に発生した台風16号の被害による災害関連費用20百万円を特別損失として計上していたことにより増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第2四半期累計期間は、売上高は501億17百万円（前年同期比0.9%減）、売上総利益175億94百万円（前年同期比0.4%減）、売上総利益率は35.1%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第2四半期累計期間は、売上高は337億44百万円（前年同期比2.1%減）、売上総利益88億85百万円（前年同期比2.6%減）、売上総利益率は26.3%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第2四半期累計期間は、売上高は236億68百万円（前年同期比2.7%減）、売上総利益93億16百万円（前年同期比2.8%減）、売上総利益率は39.4%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第2四半期累計期間は、売上高は98億4百万円（前年同期比0.7%減）、売上総利益29億14百万円（前年同期比0.8%減）、売上総利益率は29.7%となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の資産合計は、2,229億36百万円となり、前事業年度末と比較して13億91百万円の減少となりました。

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、880億47百万円（前事業年度末比2億99百万円増）となりました。増加の主な要因は、売掛金の減少（前事業年度末比2億90百万円減）、商品の減少（前事業年度末比22億97百万円減）などがあつたものの、現金及び預金の増加（前事業年度末比30億23百万円増）などによるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,348億89百万円（前事業年度末比16億90百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比16億1百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、707億36百万円(前事業年度末比28億81百万円減)となりました。減少の主な要因は、設備関係支払手形の減少(前事業年度末比22億56百万円減)などによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、153億70百万円(前事業年度末比11億35百万円減)となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少(前事業年度末比12億4百万円減)などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、1,368億29百万円(前事業年度末比26億26百万円増)となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、246億32百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、98億40百万円(前年同期比で4億0百万円の増加)となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益51億32百万円、減価償却費30億12百万円、たな卸資産の減少額23億1百万円などに対し、法人税等の支払額10億81百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、41億72百万円(前年同期比で41億78百万円の支出減)となりました。この主な要因は、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出39億96百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、26億98百万円(前年同期比で41億75百万円の収入減)となりました。この要因は、長期借入金の返済による支出14億36百万円、リース債務の返済による支出6億96百万円及び配当金の支払額5億65百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では平成29年8月10日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,554	27,578
売掛金	2,697	2,407
商品	57,179	54,881
その他	3,319	3,182
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	87,748	88,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,787	71,073
土地	46,453	46,367
建設仮勘定	1,092	505
その他(純額)	4,590	4,377
有形固定資産合計	123,924	122,323
無形固定資産	2,988	2,953
投資その他の資産	9,666	9,612
固定資産合計	136,579	134,889
資産合計	224,327	222,936
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,074	30,607
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	3,002	2,770
未払法人税等	1,439	2,255
未払金	4,358	4,761
設備関係支払手形	4,311	2,054
賞与引当金	1,080	1,135
役員賞与引当金	34	-
ポイント引当金	1,250	1,240
資産除去債務	-	25
その他	4,437	3,254
流動負債合計	73,618	70,736
固定負債		
長期借入金	4,572	3,367
退職給付引当金	2,950	3,068
役員退職慰労引当金	1,541	1,528
資産除去債務	5,062	5,191
その他	2,379	2,214
固定負債合計	16,506	15,370
負債合計	90,124	86,107

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	126,338	128,918
自己株式	△0	△0
株主資本合計	134,099	136,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	103	149
評価・換算差額等合計	103	149
純資産合計	134,202	136,829
負債純資産合計	224,327	222,936

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	119,212	117,335
売上原価	79,898	78,624
売上総利益	39,313	38,710
販売費及び一般管理費	33,529	33,047
営業利益	5,784	5,663
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	6	6
受取手数料	82	77
受取家賃	110	120
その他	187	175
営業外収益合計	401	394
営業外費用		
支払利息	85	81
不動産賃貸原価	40	62
その他	41	18
営業外費用合計	166	162
経常利益	6,019	5,895
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	29	16
特別利益合計	30	17
特別損失		
固定資産除却損	12	91
減損損失	775	669
災害による損失	1,022	-
その他	-	18
特別損失合計	1,810	779
税引前四半期純利益	4,238	5,132
法人税等	1,598	1,986
四半期純利益	2,640	3,146



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,238	5,132
減価償却費	3,166	3,012
減損損失	775	669
無形固定資産償却費	87	91
長期前払費用償却額	39	36
有形固定資産除却損	12	91
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
その他の特別損益(△は益)	-	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	72	117
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	22	△12
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	103	55
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△69	△9
受取利息及び受取配当金	△21	△21
受取保険金	△29	△16
支払利息	85	81
災害による損失	1,022	-
売上債権の増減額(△は増加)	193	△105
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,545	2,301
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,381	△462
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,316	△549
その他の資産の増減額(△は増加)	101	125
その他の負債の増減額(△は減少)	△417	455
その他	6	△11
小計	11,848	10,963
利息及び配当金の受取額	19	19
保険金の受取額	29	16
利息の支払額	△85	△77
災害損失の支払額	△94	-
法人税等の支払額	△2,277	△1,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,440	9,840

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,236	△3,996
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△77	△59
固定資産の除却による支出	△9	△89
資産除去債務の履行による支出	△46	△29
敷金及び保証金の差入による支出	△42	△32
敷金及び保証金の回収による収入	100	31
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△40	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,351	△4,172
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,000	-
長期借入金の返済による支出	△1,236	△1,436
リース債務の返済による支出	△720	△696
配当金の支払額	△566	△565
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,476	△2,698
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,565	2,969
現金及び現金同等物の期首残高	20,529	21,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,095	24,632

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	50,569	34,452	24,317	109,338	9,873	119,212	119,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	50,569	34,452	24,317	109,338	9,873	119,212	119,212
セグメント利益	17,661	9,124	9,589	36,374	2,939	39,313	39,313

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	50,117	33,744	23,668	107,530	9,804	117,335	117,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	50,117	33,744	23,668	107,530	9,804	117,335	117,335
セグメント利益	17,594	8,885	9,316	35,796	2,914	38,710	38,710

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

## 3. 補足情報

## (1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日) (至 平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日) (至 平成29年9月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	50,569	42.4	50,117	42.7	99.1
生活用品	34,452	28.9	33,744	28.8	97.9
家具・ホームファッション用品	24,317	20.4	23,668	20.2	97.3
その他	9,873	8.3	9,804	8.3	99.3
計	119,212	100.0	117,335	100.0	98.4

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他